

パイロット版

日本を学ぶ学習散歩  
社会の仕組み編

コースNo.1

日本の中心を東京で探す  
(皇居・東京駅周辺)

# はじめに

- この学習散歩の資料は、東京工業大学の外国人留学生や外国人研究者が、散歩（徒歩での移動）の際に目にするものを通じて、日本の社会の仕組みについて学べるように作成した資料です。
- 日本人学生が外国人留学生等と交流し、日本の社会の仕組みについて解説したり外国の社会の仕組みとの違いを話し合ったりする際にも利用してください。

# このコースの特徴 (1)

- このコースは、地下鉄の国会議事堂前駅・溜池山王駅をスタート地点として、日本の立法・行政・司法などの中心施設などを巡り、日本の社会の仕組みを学んで、地下鉄の三越前駅をゴールとするコースです。（体力に自信のある人向けの「進化版コース」もあります。）
- 寄り道をしなければ約9.5kmの距離なので、徒歩で2時間30分程度のコースですが、推奨している寄り道エリアなども複数あるので、天候に恵まれれば、3～4時間程度は楽しく散歩ができます。
- 学習散歩を行う時には交通信号を守り、大人数で他の歩行者等の通行を妨げないなど、注意して実施して下さい。

## このコースの特徴 (2)

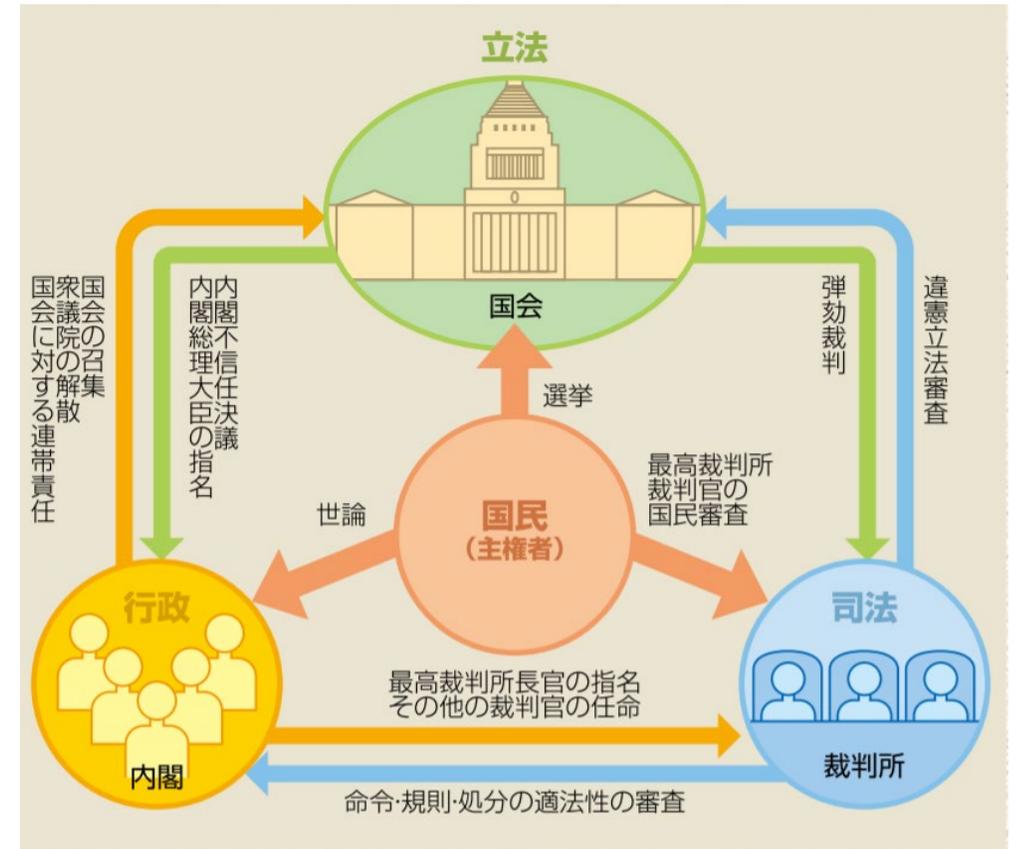
- コースのチェックポイントの解説は、日本に来ただけで、日本語や日本文化を学びつつある留学生・研究者向けとして、細かい内容を含んでいますが、興味の無い部分は飛ばしてもらって構いません。
- Google Mapを使ったバーチャルな散歩も可能ですが、できれば実際に散歩をして、解説にはない体験をして日本への理解を深めて下さい。
- この資料はショップ紹介やグルメ紹介を目的としていないので、お店や商品の詳しい紹介は含まれていませんが、コースに沿って多数のショップやレストランがありますので、色々と自分で体験してみてください。

## このコースの特徴 (3)

- この資料に掲載してある施設・店舗・サービスは2021年1月現在の情報を基に紹介していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策などにより営業していない場合があります。利用の際は施設のホームページを確認するなどして下さい。

# 基本的な情報 (1)

日本の社会の仕組みへの理解を深める学習散歩を始める前に、日本における**立法**、**行政**、**司法**について理解しておいてください。1947年に施行された日本国憲法では、前文において宣言されている**国民主権**に基づいて、第4章 **国会（立法）**、第5章 **内閣（行政）**、第6章 **司法**の3つを定義し、これらの独立した機関が相互に抑制し合いバランスを保つこと（三権分立）により、権力の乱用を防ぎ、国民の権利と自由を保障しています。



出典

[https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_annai.nsf/html/statics/kokkai/kokkai\\_sankenbunritsu.htm](https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/kokkai/kokkai_sankenbunritsu.htm)

## 基本的な情報 (2)

三権分立による国民の権利の保障の例を示しましょう。

大きな公共の利益が見込まれる国際空港等の用地であっても、土地の所有者から用地を収用することは、個人の所有権の侵害となりますので、まず、**国会（立法）**で「公共の利益を優先する場合には土地を収用できる」という法律が制定されていなければなりません。この法律に基づき、**内閣（行政）**は土地の収用に努めます。このとき根拠となる法律は選挙によって選出された国会議員からなる**国会**で制定された法律ですので、国民全体の利益を代表していると言えますが、土地の所有者が収用に不服がある場合には、根拠となる法律の違憲性や行政の手続きの違法性を**裁判所（司法）**に訴えて、**司法**の判断を仰ぐことができます。

## 基本的な情報 (3)

先ほどの例では、裁判所（**司法**）は、訴えを受けて根拠となっている法律の違憲性や行政の手続きの違法性を判断し、**国会**（**立法**）に対して法律の違憲性を指摘したり、**内閣**（**行政**）に対して収用の停止を命じることができます。

一方で、**行政**は内閣の意図に沿った判断をする裁判官を任命するために、**司法**長官に相当する最高裁判所長官を指名し、その他裁判官を任命することが可能となっています。それに対して、裁判官（**司法**）に著しい職務上の義務違反や非行がある場合には、**国会**（**立法**）が行う弾劾裁判により、裁判官（**司法**）の罷免が可能です。

## 基本的な情報 (4)

さらに、**国会（立法）**は**行政府**の長である**内閣**総理大臣を指名したり、**内閣**不信任案の可決により内閣に対して「辞任勧告」を行うことができますが、**内閣**総理大臣には**国会（立法）**の衆議院を一時的に解散し、衆議院選挙を行って国民の判断を仰ぐ権限があります。

このような三権分離により、日本では権力の乱用を防いでいますが、**立法・行政・司法**の三権は完全に平等ではなく、国民の選挙によって選出された国会議員からなる**国会（立法）**が「国権の最高機関」と日本国憲法で規定されています。

# コース全図



# コース (1)



# コース (2)



# スタート：国会議事堂前駅 4番出口 /溜池山王駅 5番出口

[コース\(1\)に戻る](#)

地下鉄の国会議事堂前駅4番出口または溜池山王駅5番出口からスタートします。国会議事堂駅と溜池山王駅は地下道で繋がっていますが、本学大岡山キャンパス近くの東急電鉄大岡山駅からだと目黒線が乗り入れている南北線の溜池山王駅5番出口が便利です。



地下鉄南北線 溜池山王駅ホームの案内看板



溜池山王駅  
5番出口

# チェックポイントと解説 ①

## ① 総理大臣官邸

日本は、議院内閣制を取っており、国民による選挙で選ばれた国会議員からなる衆議院・参議院の議会で指名され、天皇によって任命された、内閣総理大臣（短縮して総理大臣、総理、首相とも呼ばれる）が行政の長を務め、内閣を組織します。

日本の内閣総理大臣は、国民の直接・間接選挙で選出される大統領とは異なり、任期が定まっていません。現行憲法下では在任期間が62日というのが最短で、最長は通算で3188日となっています。

# チェックポイントと解説 ① つづき

## ① 総理大臣官邸

このように**総理大臣**の任期に変動が生じるのは、議院**内閣**制では、**総理大臣**の支持基盤となる政党の**国会**における議席数（議員数）が短期間で減少する場合があるからです。ある時点において国会議員の過半数の議員の票を得て指名された**総理大臣**でも、支持政党の支持を失ってしまい、国会で過半数の議席数を確保できなくなると、国会での予算案の承認や法律案の可決ができなくなるため、衆議院の解散総選挙か内閣総辞職を選択するしか手立てが無くなり、短期間でも辞任に至る場合があります。

# チェックポイントと解説 ① つづき

## ① 総理大臣官邸

この総理大臣官邸（別の呼び方では総理官邸、首相官邸）では、**内閣総理大臣**が、内閣を構成する大臣との閣議、国内外の要人との面会、記者会見、自然災害時の緊急対策本部会議などの公務を行うため、日本の**行政府の中心**の一つと言える場所です。

# チェックポイントと解説 ① つづき

## ① 総理大臣官邸

テレビのニュースで**内閣総理大臣**の公務について報道される場合には、しばしばこの総理大臣官邸の内部や外観が放映されますので、誰でも一度は見たことがあるものと思います。敷地の周りには塀があるため、このコース沿いからは建物の外観は良く見えませんが、外観や内部の写真は首相官邸のホームページに紹介されています。

日本語 <https://www.kantei.go.jp>

English <https://japan.kantei.go.jp>

# チェックポイントと解説 ① つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ① 総理大臣官邸

また、同じ敷地内に、**内閣総理大臣**が居住する**総理大臣公邸**と**内閣官房長官**が居住する**内閣官房長官公邸**もあります。

**内閣官房長官**は、内閣の案件について行政各部の調整役などを行う内閣官房の長であるとともに、政府報道官の役割を持ち、**内閣総理大臣**の職務代行の順位も副総理大臣の次と定められていることから分かるように、「内閣総理大臣の右腕」とも称される重要な官職です。そのため、この**内閣官房長官公邸**は**総理大臣官邸・公邸**と同じ敷地内に置かれています。

# チェックポイントと解説 ②

## ② 議員会館

これらは衆参両議院の議員（国会議員）の事務所です。国会議員は日本全国のそれぞれの選挙区に自らの事務所を持っていますが、地方選出の国会議員は国会会期中に選挙区に帰ることが難しいため、これらの議員会館は、地方選出の国会議員が東京で政治活動をするための拠点として国会法に基づき設置され、衆参両議院の事務局によって管理されています。

# チェックポイントと解説 ② つづき

## ② 議員会館

日本の国会議員は個人・企業・団体などからの寄附を政治資金として受け取ることができますが、政治資金はそれぞれの国会議員が代表者となる政治団体が出入金を管理し、団体毎に定められている資金管理責任者が定期的に政治資金収支報告書を作成して公開することが政治資金規正法により定められています。一方で、議員の持つ権限の行使の依頼を受けて政治資金を受け取ることは収賄にあたります。贈収賄事件（汚職事件）では、この議員会館で政治資金報告書に記載されない現金での政治資金の授受がなされたとして、ニュースなどに取り上げられることがあります。

# チェックポイントと解説 ② つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ② 議員会館

議員会館は、チェックポイント⑤の国会議事堂の裏手であり、国会議事堂との移動が容易な位置に建設されています。

また、チェックポイント①の総理大臣官邸や②の議員会館、⑤の国会議事堂は、千代田区永田町にあり、「永田町」や「永田町の先生」などという言葉は政界や国会議員を指す一種の隠語として用いられることがあります。

# チェックポイントと解説 ③

## ③ 国立国会図書館

国立国会図書館は、国立国会図書館法に基づき、「図書及びその他の図書館資料を蒐集し、国会議員の職務の遂行に資するとともに、行政及び司法の各部門に対し、更に日本国民に対し、この法律に規定する図書館奉仕を提供する」ことを目的として、設置されています。

また、同法では、国内で出版物（図書、電子的記録媒体による文字や映像などの記録物など）が発行されたときには、「国立国会図書館に納入しなければならない」とされています。

# チェックポイントと解説 ③ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ③ 国立国会図書館

また、近年の出版媒体の変化に対応して、公衆に利用可能な状態とした「インターネット資料」や「オンライン資料」なども蒐集の対象としており、日本で発行された出版物が全て蓄積されていることから、日本の**知的文化財の中心**と言える施設です。

国立国会図書館は、満18歳以上であれば誰でも入館・利用できます。詳細は国立国会図書館のウェブページでご確認ください。

日本語 <https://www.ndl.go.jp/index.html>

English <https://www.ndl.go.jp/en/index.html>

# チェックポイントと解説 ④

## ④ 最高裁判所

最高裁判所は憲法によって設置されている**司法機関**であり、下級裁判所を含む裁判所全体の役割等は裁判所法で定められています。

日本の司法制度では、原則として**三審制**が採られており、最初に訴えを取り扱う**地方裁判所**、地方裁判所の判決に対して不服がある場合の控訴審を行う**高等裁判所**に加え、高等裁判所の判決に不服がある場合の上告審において**最高裁判所**が最終判断をしています。最高裁判所は日本に一つしかなく、高等裁判所での法令の解釈が適切に行われたかどうかの判断や司法行政事務（裁判所内の規則の制定や人事など）などを行っています。

# チェックポイントと解説 ④ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ④ 最高裁判所

また、立法府（国会）で制定された法令等が、憲法に違反していないかという違憲審査を取り扱う憲法裁判所は日本には無く、最高裁判所が憲法裁判所の役割も担うことが憲法第81条に定められており、日本の**司法府の中心**と言える組織です。

# チェックポイントと解説 ⑤

## ⑤ 国会議事堂

この国会議事堂は竣工（1936年）以来、日本の旧憲法に基づく帝国議会（1947年3月まで）および現行憲法に基づく国会（1947年5月以降）が開催されている建物です。

日本の国会は憲法第41条において「国権の最高機関であって、国の、唯一の立法機関である」とされ、同42条において国会は衆議院（下院）と参議院（上院）からなる二院制議会と定められています。また、衆議院は参議院に対して優越性を持つと憲法ならびに国会法で定められています。

# チェックポイントと解説 ⑤ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ⑤ 国会議事堂

国会議事堂は左右対称形で、正面から見て左側に衆議院、右側に参議院の議場（本会議室）や委員会室などが置かれており、日本の**立法府の中心**と言える建物です。

一般の人でも事前予約すれば議事堂内の見学が可能であるほか、本会議の傍聴も当日先着で受け付けています。詳細は衆参両議院のウェブページでご確認ください。

English [https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_english.nsf/html/statics/guide/tours.htm](https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_english.nsf/html/statics/guide/tours.htm)

English <https://www.sangiin.go.jp/eng/info/dbt/index.htm>

# 寄り道スポット 日本水準原点

日本水準原点とは、離島を除く日本列島の標高の基準となる点であり、その高さ（東京湾平均海面からの高さ）が精密に測定定義されている点です。水準原点の標高は大きな地震によって変化してしまうため、関東大震災後の1923年と東日本大震災後の2011年に改正されており、現在では標高24.3900mとなっています。

日本各地には、基準水準点が84か所あり、標高が0.1mm単位で測定されている一等基準点と1mm単位で測定されている二等基準点を合わせると国内には16,707の水準点があります。この場所の日本水準原点は、それら全ての水準点の原点です。

現在では、位置や高さの測定をほぼリアルタイムで行える1,300点の電子基準点を用いた全球測位衛星システムにより、地殻変動観測なども行われています。

# チェックポイントと解説 ⑥

## ⑥ 財務省

財務省は内閣が指揮する行政機関である1府11省1庁\*1（2021年現在）の一つです。

\*1 1府11省1庁

内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、復興庁

参考：[https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/satei\\_01\\_05\\_3.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/satei_01_05_3.pdf) (Japanese)

# チェックポイントと解説 ⑥ つづき

## ⑥ 財務省

国の予算案を編成するのは本来内閣の専管事項ですが、内閣の意向を踏まえて実際の予算編成を行うのは財務省です。

毎年7月下旬ごろに内閣が閣議決定した概算要求基準が各省庁に通知され、各省庁はそれに基づいて作成した概算要求を8月末までに財務省に提出します。財務省は各省庁の担当者からのヒアリング、各省庁の事務次官による次官折衝、大臣による大臣折衝、政治折衝などを経て政府案を作成します。「折衝」というのは「交渉」のことであり、財務省は他省庁の予算を決める権限があることから、他の省庁に対して優越的な地位を有しています。

# チェックポイントと解説 ⑥ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ⑥ 財務省

この財務省やチェックポイント⑦の外務省を始め多くの省庁が千代田区霞が関にあり、「霞が関」という言葉は省庁や官僚を指す一種の隠語として用いられることがあります。

# チェックポイントと解説 ⑦

## ⑦ 外務省

外務省は内閣が指揮する行政機関である1府11省1庁\*<sup>1</sup>（2021年現在）の一つです。

\*<sup>1</sup> 1府11省1庁

内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、復興庁

参考：[https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/satei\\_01\\_05\\_3.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/satei_01_05_3.pdf) (Japanese)

# チェックポイントと解説 ⑦ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ⑦ 外務省

外務省は、外国政府との交渉やその国の政治・経済などの情報の収集と分析を行うとともに、日本を理解してもらうための国際広報活動などを行っています。

外務大臣は、一般に、内閣では、総理大臣、官房長官、財務大臣に次ぐ地位とされ、歴代の総理大臣の多くが就任以前に外務大臣を務めています。

# チェックポイントと解説 ⑧

## ⑧ 東京高裁・東京地裁合同庁舎

高裁・地裁はそれぞれ高等裁判所、地方裁判所の略称です。高等裁判所はチェックポイント④の最高裁判所に次ぐ下級裁判所の中では最上位の裁判所です。東京高等裁判所は日本に8つある高等裁判所の一つで、東京都のほか神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、静岡、山梨、長野、新潟の10県を管轄としています。

この建物は東京高等裁判所と東京地方裁判所が合同で使用しており、都内にある地方裁判所は東京地方裁判所1か所ですので、都内の裁判所は全てここにあると言えます。

# チェックポイントと解説 ⑨

## ⑨ 警察庁と警視庁

警察庁は、国家公安員会の下に設置されている国の行政機関であり、警察制度の企画、国の公安に係る事案についての警察運営、都道府県警察の監督指導などを行っていることから、日本の**警察行政の中心**と言えます。ただし、警察庁には捜査員はいません。

警察庁と同じ建物内に置かれている国家公安委員会は、内閣総理大臣所管で内閣府の外局である行政委員会で、警察行政の民主的運営と政治的中立性の確保を図るための組織です。公安委員会は警察庁の運営が適切に行われているか否かを監督しますが、個々の事件について指示や命令などを行うことはありません。

# チェックポイントと解説 ⑨

## ⑨ 警察庁と警視庁

警視庁と警察庁は日本語での名前が似ているので混同しやすいのですが、警視庁は東京都を管轄とする警察組織で、東京都知事所轄の東京都公安委員会の下部組織と位置付けられています。この関係は国家公安委員会と警察庁の関係と似ています。

この警視庁には、警察庁とは異なり、捜査員が所属しており、警視庁の出先機関である都内各所にある警察署や交番に勤務している警官（お巡りさん）は市民にとって身近な存在です。

# チェックポイントと解説 ⑨

## ⑨ 警察庁と警視庁

東京都における警視庁は、他の道府県であれば、その道府県を管轄とする警察本部に相当します。一方で、東京都が日本の政治経済の中心地であることから、警視庁は他道府県の警察本部とは異なり、幹部の多くが警察庁からの出向者で構成されており、その任免は国家公安委員会が東京都公安委員会の同意を得て行うと警察法に規定されているほか、警視庁のトップである警視総監の任免にはさらに内閣総理大臣の承認が必要となっています。このような事情から、東京都警察本部ではなく、警視庁という特別な名称になっています。

# チェックポイントと解説 ⑨ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ⑨ 警察庁と警視庁

警視庁の建物は、皇居の桜田門の方から見ると少し尖った形で屋上には高い通信アンテナとヘリポートがある特徴的な建物であり、刑事ドラマのオープニングなどでもしばしばその外観が使われています。

また、他の省庁と同様に建物の住所は千代田区霞が関ですが、他の省庁とは異なり、「桜田門」という言葉が警察庁や警視庁を表す一種の隠語として用いられることがあります。

# チェックポイントと解説 ⑩

## ⑩ 法務省旧本館

この建物は、過去に法務省の本館として使われていたもので、厳密にいうと現在の**法務行政の中心**というわけではありませんが、コース沿いにある特徴的・歴史的な建物なので、チェックポイントに選択しています。ちなみに、現在の法務省の主な庁舎はこの建物の裏に位置する中央合同庁舎6号館となります。

法務行政とは、法の整備、法秩序の維持、国民の権利擁護のほか、留学生にも関係の深い出入国管理などを指します。

# チェックポイントと解説 ⑩

## ⑩ 法務省旧本館

この建物は2名のドイツ人建築家が基本設計を行ったドイツ・ネオバロック様式で、7年の工期を経て1895年に竣工しています。その外観から、赤レンガ棟と呼ばれ、1923年の関東大震災や1945年までの第二次世界大戦の戦火に遭いながら、改修・復原を経て、長く旧憲法下の司法省および現行憲法下の法務省の庁舎として使われてきました。

1994年の改修工事において、創建時の外観に復原され、同年に国の重要文化財に指定されていますが、現在も法務総合研究所、法務図書館などとして利用されています。

# チェックポイントと解説 ⑩

## ⑩ 法務省旧本館

平日に無料で公開されている法務史料展示室には法務史料に加え、建築史料も展示されていますので、寄り道スポットとしてもお勧めです。

参考：法務史料室のウェブページ (Japanese Version)

[http://www.moj.go.jp/housei/tosho-tenji/housei06\\_00004.html](http://www.moj.go.jp/housei/tosho-tenji/housei06_00004.html)

## 寄り道スポット 日比谷公園

日比谷公園は、無料開放されている都立公園で、広さ約16ha (0.16km<sup>2</sup>) の中に、複数の噴水、花壇、広場などがあり、都民の憩いの場として親しまれています。園内には日比谷図書館、日比谷公会堂、大小の音楽堂、レストラン、売店等の施設があるほか、歴史スポットも数多く残されています。

参考：園内歴史スポットのガイドブック (English Version)

[https://www.tokyo-park.or.jp/park/view/pdf/hibiyaguide\\_english\\_20200630.pdf](https://www.tokyo-park.or.jp/park/view/pdf/hibiyaguide_english_20200630.pdf)

官庁街の近くにこのような広大な敷地が公園地として確保できた理由は、元々この辺りは江戸湾の入江を埋め立てた場所で地盤が悪く、大規模な建物の建築に不向きであったためです。

# 寄り道スポット 日比谷公園 つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

日比谷公園では、臨時イベントも毎週のように実施されており、例えば、日本各地の名産品や名酒が楽しめるイベントや、ドイツで10月に開催されるオクトーバーフェスト（ドイツビールのお祭り）が、5月や6月に開催されて飲食代金のみで参加できるなど、日本でなければ体験できないものも多数あり、週末に遊びに行く場所としてお勧めです。イベントに関しては以下のウェブページで調べてください。

参考：東京都公園協会のウェブページ

日本語 <http://www.tokyo-park.or.jp/index.html>

English [http://www.tokyo-park.or.jp/index.html#googtrans\(en\)](http://www.tokyo-park.or.jp/index.html#googtrans(en))

## 寄り道スポット 日本酒情報館

少しコースから外れますが、日比谷の南側は、西新橋で、その東の新橋とともにビジネス・商業エリアとして栄えています。この新橋・西新橋を含む今回のコースの周辺には多くの博物館、美術館、道府県産品のアンテナショップがあり、入場料無料で楽しめる場所もあるので、気軽に入ってみてください。

最初に紹介するのは日本酒造組合中央会が運営する「日本の酒情報館」です。ここは一種のアンテナショップで入場無料で日本酒文化を紹介する展示やイベントが行われています。日本の法律では満年齢で20歳以上になれば飲酒可能ですが、自国の法律で飲酒が禁止されていたり、飲酒が認められていない年齢の留学生の場合には、20歳を過ぎていても飲酒やお酒の購入はお勧めできません。

## 寄り道エリア 銀座商業エリア

日比谷公園のあるJR線の西側は日比谷という地名なのに対して、JR線の東側は銀座という地名になります。この銀座という地名は、江戸時代初期の1612年に銀貨を製造する銀座役所が駿府（現在の静岡市）から移設され、銀貨の鑄造や銀地金の取引を行っていたことに由来しています。1800年に銀座役所は移転しましたが、地区の通称として残り、現在は町名として使われています。

銀座地区は江戸時代から職人町や商業地として栄えてきましたが、明治時代にレンガ造りの街並みが整備されたことで、日本一の繁華街となりました。現在の街並みは第二次世界大戦後に整備されたものです。

## 寄り道エリア 銀座商業エリア つづき

銀座地区は南西から北東に長く、北西から南東に短い長方形のような形をしており、コースとなっている晴海通りは銀座地区の中央を北西から南東に向けて走っています。そのため、晴海通りの北側も南側も商業地区となっており、多くの商店があるため、寄り道したくなるようなお店は尽きません。

この銀座地区の中心が、新橋-東京駅間の鉄道から離れている理由は、新橋-東京駅間の鉄道を計画する時に既に銀座が繁華街であり、用地の買収が非現実的であったためです。これにより銀座は東西の分断を避けられ、以後の発展にも寄与していると言えます。

## 寄り道エリア 銀座商業エリア つづき

昭和になって「銀座」という地名には「高級商店街」のイメージが定着したことから、目黒区の日黒銀座商店街など「銀座」を名前に付した商店街が多数できましたが、その先駆けとなった品川区の戸越銀座商店街は大正末期に関東大震災で不要になった銀座のレンガを譲り受け、道路に敷き詰めた縁で戸越銀座商店街と命名されています。

「銀座」と名付けられた商店街は、日本各地にありますが、日本以外にも、韓国、台湾、香港、パラオなどにもあると言われています。

# 寄り道エリア 銀座商業エリア つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

また、銀座の人通りの多さを比喻として使って、台風の通過の多い地域を「台風銀座」と呼ぶことがありますが、これは正式な気象用語ではありません。

# チェックポイントと解説 ⑪

## ⑪ 鳩居堂と中央通り

銀座地区の中央を南西から北東に走る大通りが中央通り（通称、銀座通り）で、中央通り沿いにはハイブランドの宝石店、ブティック、デパートなど、日本で最も高価な商品を扱う店が多数並んでおり、日本の**商業地の中心**と言える場所です。中央通りはニューヨークの五番街やパリのシャンゼリゼ通りに比肩する高級繁華街です。

中央通りは土・日曜日、祝祭日に歩行者天国になることがあり、自動車が通行できないのはもちろん、横切ることもできないので、注意が必要です。自転車は降りて押せば通行可能です。

# チェックポイントと解説 ⑪ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)

## ⑪ 鳩居堂と中央通り

銀座は地価が日本で最も高い地域であり、中でも銀座地区の中央通りの中間に位置する銀座四丁目交差点近くの鳩居堂前は日本一高い路線価（2020年度では4,592万円/m<sup>2</sup>）の評価を受けています。ちなみに路線価とは相続税や贈与税を算出する際に使われる評価額で、実際の売買価格はその1.5倍以上になることもあります。

ここでは、コースとして中央通りを選択していますが、銀座地区を縦横に走っている通りの両側には沢山の商店などがありますので、コースを外れた散歩もお勧めです。

## 寄り道スポット 警察博物館

この博物館は、日本の警察に関する歴史的資料を展示するとともに、現在の警視庁の活動を紹介しています。主な展示物には英語の説明があり、子供が楽しめる展示やイベントも行っています。

利用者は1回25人まで、90分の入れ替え制で1日3回（開始時刻9:15、12:45、15:00）の制限がありますが、無料で入館できます。確実に入館したい人は電話で予約を取って行かれることをお勧めします。

[https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/multilingual/english/about\\_us/Police\\_Museum.html](https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/multilingual/english/about_us/Police_Museum.html)

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum

杉原千畝（すぎはら ちうね、リトアニア人に対しては発音の容易さからセンポと名乗っていたため、博物館の名称にSempoを使用しています）は、昭和初期の日本の外務省の職員で、1939年8月にリトアニアのカウナスで日本領事館領事代理として着任しています。

この場所と時期が大変重要なので、補足をしておきましょう。まず、リトアニアはバルト3国の一番南に位置する国で、北の国境はラトビアと接しています。また、南西の国境がポーランドと接しており、南東の国境が当時ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）に属していたベラルーシに接しています。そして、1939年8月というのは、ドイツ軍によるポーランド侵攻（1939年9月）の直前です。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき

杉原千畝のカウナス着任後、ポーランドを始めとするヨーロッパの国々からドイツ軍の迫害を恐れて多くの難民がリトアニアに流入してきましたが、翌1940年6月にはソ連軍がリトアニアに侵攻し、リトアニアも独立を失ってしまいます。

このような背景の中で、杉原千畝は1940年7月から8月にかけて、リトアニア人を含む難民（多くがユダヤ系）に対して、日本通過を許可するビザを2,000枚以上発給しています。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき

当時、ソ連は、出国の予定が確実な外国人に対しては通過ビザを発行して入国を認めていました。そのため杉原千畝のビザを受取った人とその家族は、リトアニアからソ連を通過して日本に入ったのち、難民として受け入れてもらえる国を探せるチャンスが得られました。杉原千畝が発給したビザは結果として4,500人以上の人命を救い、「命のビザ」と呼ばれています。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき

一方で、杉原千畝が「命のビザ」を発給した1940年7-8月というのは、日独伊三国間条約（日独伊三国同盟）の調印（1940年9月27日）の直前で、日本政府としてはドイツ政府の政策に表立って反対しない方針をとっていたため、杉原千畝の行動は日本政府の命令に反するものでした。そのため、杉原千畝は外務省による罷免処分を受ける可能性があり、実際に外務省からの電報でビザの発給条件を守るようにと注意を受けることもありましたが、人道的感情と人間に対する愛から、できる限りビザの発給を続けたと言われています。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき

杉原千畝はソ連の意向を受けた外務省からの命令により1940年9月にドイツのベルリンへと異動し、その後もヨーロッパに滞在していますが、杉原千畝のカウナスでの行動は、ドイツ政府から見て好ましいものではなく、第二次世界大戦中はドイツ支配地域への赴任を拒否されるなど、その後の活動に対して制限を受ける要因となっています。

その後、ルーマニアのブカレストで終戦を迎えた杉原一家はソ連軍による拘束を経て、1947年4月に帰国しています。同年6月に外務省からの退職通告書を受けて退職したため、杉原千畝は外交の表舞台から消された存在となりますが、政府の命令に反したカウナスでの行動がこのような処遇の原因と言われています。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき

杉原千畝の行動は、1981年出版の本や1983年のテレビ番組などで取り上げられることによって日本で広く知られるようになるとともに、イスラエル政府から1985年に「諸国民の中の正義の人」として「ヤド・バシェム賞」を贈られたことから評価が高まり、没後ではありますが2000年10月に日本政府による公式な名誉回復がなされています。

2019年3月に開館したこの博物館は杉原千畝のヒューマニズムに支えられた勇気ある行動を後世に伝えるべく、杉原千畝の手記や命のビザが発給されたパスポート、後年イスラエルやポーランドから千畝に送られたメダルなどを展示しています。

## 寄り道スポット 杉原千畝Sempo Museum つづき [コース\(1\)に戻る](#)

この博物館は、今回の学習散歩のテーマではないため、チェックポイントとしてはおらず、入館料も必要な施設なのでお勧めし難い面もありますが、留学生にも日本滞在中に一度は訪れて欲しい施設です。

案内ページ (English Version) <http://en.sempomuseum.com/>

## 寄り道スポット 三菱一号館美術館

三菱一号館は、元々イギリスの建築家の設計により1894年に竣工したクイーン・アン様式の建物でした。三菱が丸の内に建設した初めての洋風事務所建築で、銀行の事務所として使用されていましたが、老朽化のため、1968年に解体されました。

しかし、三菱一号館は日本の近代化を物語る建築物であったことから、2003年から復元が検討され、元の設計図や解体時の実測図をもとにし、一部に旧建物の部材を使用しているほか、旧建物と同じ部材を当時の製造方法を再現して作成したものを使用するなどして約2年の工期を経て2009年に復元されています。

美術館としての開館は翌2010年で、建物の年代に合わせた19世紀後半から20世紀前半の西洋近代美術を取り上げて企画展を行っています。

入場料は展示内容や時期によって異なりますが、大学生や大学院生には割引料金が適用になる場合があるのでホームページなどをチェックしてください。

美術館のホームページ (English Version) <https://mimt.jp/english/>

## 寄り道スポット 明治生命館

この建物は、岡田信一郎の設計により1934年に竣工した地上8階、地下2階建ての建物で、正面にコリント式列柱が並んでいる古典主義様式の建物です。1997年に重要文化財に指定されています。

この建物は、明治生命保険の本社でしたが、第二次世界大戦後の1945年9月から1956年7月まで連合軍最高司令官総司令部に接收され、アメリカ極東空軍司令部として使用されています。現在は明治生命保険の後継会社である明治安田生命保険の本社社屋として使用されているほか、昭和の激動の歴史を伝える資料館として一部が無料で公開されています。

ホームページ（日本語） [https://www.meijiyasuda.co.jp/meiji\\_seimeikan/index.html](https://www.meijiyasuda.co.jp/meiji_seimeikan/index.html)

## 寄り道スポット 出光美術館

出光美術館は、石油元売り会社の出光興産の創業者である出光佐三（1885－1981）が収集した美術品を展示公開している美術館で、美術館が入っている帝劇ビルの竣工と同年の1966年に開館しています。展示物は日本の書画、中国・日本の陶磁器などの東洋古美術が中心で、多くの企画展を実施しています。入場料や開館時間などはホームページをチェックしてください。

美術館のホームページ（English Version） <http://idemitsu-museum.or.jp/en/>

ちなみに、美術館が入っている帝劇ビルは、本学大岡山キャンパスにある70周年記念講堂と同様に、本学名誉教授の谷口吉郎先生の設計によるもので、本学とも深い関係があると言えます。

## 寄り道スポット 皇居外苑

鍛冶橋通りを西に進み、皇居の内堀の内側に入ったところにある広場が皇居外苑という芝生で覆われた美しい公園です。特に芝の養生を行っている部分を除けば、芝生の中に入っても構わないため、持参したお弁当を食べるなどピクニックをすることも可能です。

この公園は皇居周辺を警備する警官がたくさんいる地域の中にありますので、日本一安全な公園かもしれません。

# チェックポイントと解説 ⑫

## ⑫ 皇居

皇居には、天皇陛下の住居と儀式と公務を行う建物があり、日本の**天皇制の中心**と言えるような場所です。

天皇は、1947年5月3日に施行された日本国憲法の第一章において、「日本国の象徴である」「国事に関するすべての行為には、内閣の助言と承認を必要とする」「国政に関する権能を有しない」などと定められています。そのため、天皇は日本の「君主」でも「国家元首」でもなく、現行憲法下における天皇制は「象徴天皇制」と呼ばれて、国家制度ではありません。

# チェックポイントと解説 ⑫ つづき

## ⑫ 皇居

一方で、天皇は、内閣の助言と承認により行っている「国会を召集すること」「衆議院を解散すること」「国務大臣等の任免」「栄典を授与すること」「外国の大使及び公使を接受すること」などの国事のほか、宮中における儀式や文化活動、皇族による日本赤十字社などの非営利団体の名誉総裁などとしての活動、被災地へのお見舞い訪問などの活動などを通じて、その存在は日本の国民に広く受け入れられています。

# チェックポイントと解説 ⑫ つづき

## ⑫ 皇居

皇居のあるエリアは、元々、平安時代末期（1100年前後）にこの辺りを治めた江戸氏が居館を構えた場所とされています。1868年9月の「東京」への改称以前にこの辺りの地域の名称として用いられていた「江戸」とはこの江戸氏に由来します。

その後、江戸氏に代わりこの辺りを治めた太田道灌が1457年に城を築き、水堀などを整備したとされています。この太田道灌は、その立像がJR有楽町駅前の旧東京都庁第一庁舎前に建っていたため、ある年代以上の都民にとってなじみの深い人物です。立像は現在、旧庁舎の跡地に建つ東京国際フォーラムの中に移されています。

# チェックポイントと解説 ⑫ つづき

## ⑫ 皇居

その後、1590年に徳川家康が駿府（現在の静岡市）から国替えして江戸に入り、城や城下町の整備を図り、関ヶ原の戦い（1600年）で徳川家康が政権把握した後は50年以上に渡って城内・城下町ともに大規模な治水・建築が行われています。

江戸城は日本各地に残る他の城に比べて広い範囲に多くの建物が建てられた城でしたが、最も高く城の象徴と言える天守が残っていません。これは、1657年の江戸の大火（明暦の大火）での焼失以降、町の復興を優先したことに加え、天守の役割の喪失や経済的な理由から再建されなかったためです。

# チェックポイントと解説 ⑫ つづき

## ⑫ 皇居

江戸城は、徳川家康の入城以来二百数十年の間、将軍の居館や徳川幕府の中枢として存在してきましたが、1868年4月に明治新政府軍に明け渡されました。江戸城は同年10月の明治天皇の行幸による江戸城到着を機に「東京城」（とうけいじょう）と改称され、翌年3月に再び京都から東京に明治天皇が行幸（再幸）された際に「皇城」と改称されて以後御所となっています。なお、現在に至るまで、天皇が「都を東京に遷す」という詔勅を出していないため、「京都と東京は等しく都である」という主張をする人もいますが、京都は首都機能を持たないため、現在では分の悪い意見となっています。

# チェックポイントと解説 ⑫ つづき

[コース\(1\)に戻る](#)  
[コース\(2\)に移動](#)

## ⑫ 皇居

その後、1888年に皇城内に宮殿が完成し、「宮城」と称するようになりませんが、日本国憲法施行の翌年（1948年）に「皇居」と改称されて現在に至っています。

現在の皇居エリア中を地下鉄を含む鉄道や道路が通行することはできないため、遠回りを強いられる場合がある側面もありますが、新年の一般参賀、春季・秋季の乾通り一般公開（桜・紅葉）、平日の参観など一般の人が皇居に入れる機会も多くあり、皇居の存在自体も日本の国民に広く受け入れられています。

## 寄り道スポット 丸善

東京駅 丸の内北口の近くに、有名書店の丸善の丸の内本店があります。この店は都内で一番洋書（輸入書籍・雑誌）が充実している書店として有名ですので、近くの書店で見つからなかった洋書を探しに来るのにオススメです。

# チェックポイントと解説 ⑬

## ⑬ 東京駅

東京駅は、乗降客数での評価ではJRの駅の中で新宿駅、池袋駅に続く3位の駅ですが、在来線では**中央線（快速）**、山手線、京浜東北線、**東海道線**、**宇都宮線**（東北線・高崎線）、常磐線、総武線（快速）【成田エクスプレス成田方面】、横須賀線【成田エクスプレス横浜方面】、**京葉線**、**武蔵野線**の10路線が乗り入れており、多くの路線（太字）では始発駅となっています。また、**東海道新幹線**、**東北新幹線**、**上越新幹線**、**北陸新幹線**、**北海道新幹線**、**山形新幹線**、**秋田新幹線**の始発駅となっているため、日本の**鉄道交通の中心**と言えるような場所です。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

## ⑬ 東京駅

東京駅にはJR以外に地下鉄（東京メトロ）の丸ノ内線も乗り入れているほか、丸ノ内線、東西線、千代田線、半蔵門線（以上東京メトロ）と三田線（都営）の5路線が利用できる大手町駅に地下道で接続しており、徒歩圏内ですので、「丸ノ内線東京駅から乗車して大手町駅で他路線に乗り換える」というのは、時間とお金の無駄ですので余りお勧めできません。

東京メトロの千代田線を利用したい場合には、東京駅丸の内南口から二重橋前駅までの200mほどを徒歩で移動する方法もあります。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

## ⑬ 東京駅

逆に、東京駅の中でも、横須賀線と総武線（快速）が止まる総武地下ホームや京葉線と武蔵野線が止まる京葉地下ホームは、他の路線からの乗り換えに時間の掛かるホームとして知られています。

ちなみに日本語では、英語のplatformを省略してカタカナ表記を用いて「ホーム」としてはいますが、自動翻訳などで正確に訳し難い言葉なので注意が必要です。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

## ⑬ 東京駅

東京駅の丸の内駅舎は、イギリス建築を学んだ辰野金吾が設計し、6年余の工事を経て1914年12月に竣工した建物を起源としています。大日本帝国時代に建てられたため、皇居から行幸通りで直結する駅の西側（丸の内側）中央に、皇室のみが利用する皇室口が設けられ、「天皇の駅」という性格が強く表れた建物でした。

関東大震災と第二次世界大戦の戦火による損傷を修復して使われ、2003年に重要文化財に指定されていますが、2007年から地下に免震構造を取り入れるなど最新の技術も取り入れながら復元工事が行われ、2012年に創建当初の姿に復元されています。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

## ⑬ 東京駅

東京駅は、通過式の構造を取っているため、駅舎は線路西側の丸の内駅舎と線路東側の八重洲駅舎に完全に分離されていますが、線路に高架式が採用されているため、地上階部分に広いコンコースがあり、その地下構造も地下街として開発されています。

地下街の大部分は公衆道路として入場料なしで利用でき、多くの飲食店、土産物店、キャラクターショップなどが営業していることから、観光客の目的地にもなっています。また、改札内のコンコースも近年エキナカショップと呼ばれる飲食店・販売店が充実し、改札を出なくても楽しめるスペースとなっています。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

## ⑬ 東京駅

東京駅は、通過式の構造を取っているため、駅舎は線路西側の丸の内駅舎と線路東側の八重洲駅舎に完全に分離されていますが、線路に高架式が採用されているため、地上階部分に広いコンコースがあり、その地下構造も地下街として開発されています。

地下街の大部分は公衆道路として入場料なしで利用でき、多くの飲食店、土産物店、キャラクターショップなどが営業していることから、観光客の目的地にもなっています。また、改札内のコンコースも近年エキナカショップと呼ばれる飲食店・販売店が充実し、改札を出なくても楽しめるスペースとなっています。

# チェックポイントと解説 ⑬ つづき

[コース\(2\)に戻る](#)

## ⑬ 東京駅

東京駅を発着する路線では、東京駅を始発駅としない山手線や京浜東北線などを除いて、東京駅を出発駅とする方向を「下り」、東京駅を到着駅とする方向を「上り」と呼ぶことがあります。駅では利用者の分かり易さを重視して、「X線Y方面行ホーム」などで行き先の地名で示されることが増えています。

また、環状線である山手線に対しては左側通行を前提として、右回りを「外回り」、左回りを「内回り」と呼んだり、京浜東北線に対して「北行」「南行」などと呼んだりするのも正式な名称ではありませんが、ニュースなどでもしばしば使用される用語です。

## 寄り道エリア 日本橋商業エリア

次のチェックポイント⑭の日本橋の南北のエリアは、日本橋という地名で、江戸時代中期以降、日本一の商業地区として発展していたエリアです。

明治時代になって、開発の余地のあった銀座地区を西洋風な街並みに整備したため、商業地の中心が銀座に移ってしまいましたが、日本橋エリアも再開発を経て、近年、ビジネス・商業地区として再び脚光を浴びつつあります。

# チェックポイントと解説 ⑭

## ⑭ 日本橋

日本橋は江戸時代に整備された五街道（東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道）の起点となっていたことから、現在でも7本の主要な国道の起点となっています。そのため、日本の**道路交通の中心**と言えるような場所です。

日本橋の上には「日本国道路元標」が置かれ、国道の距離表示の原点となっているほか、橋の四隅には獅子像が、欄干の照明塔の根本には麒麟像が置かれています。現在の橋は1911年に完成したもので、1999年に国の重要文化財に指定されています。

# チェックポイントと解説 ⑭ つづき

[コース\(2\)に戻る](#)

## ⑭ 日本橋

現在、日本橋のすぐ上には高速道路が築かれており、優れた景観とは言えません。これは、1964年の東京オリンピック開催に向けて、短時間で道路交通網を整備する際、土地の収用をしなくて済むように、川や運河の上に高速道路を建設した影響です。

日本の中心の一つと言える日本橋の景観を取り戻すことは多くの人の希望でしたが、建設後50年が過ぎている都内の高速道路の補修や建て替えの計画に合わせて、現在、日本橋を通過する高速道路の地下化の計画が進んでおり、2040年開通を目指して工事が始められています。

## 寄り道スポット 凧の博物館

この博物館には、日本全国から集められた凧が約3,000枚展示されています。日本の凧（和凧）は竹を細く裂いた竹ひごで作成した枠に和紙を張り、絵を描いたものが主流ですが、日本各地で特徴ある凧が作られ一種の伝統文化となっています。また、凧に描かれている武者絵などは美術品としての価値も高く、見ていて飽きません。

入場は無料ですが、英語での案内などはありませんので、日本語の分かる人と一緒に行かれることをお勧めします。

日本語のホームページ <https://www.taimeiken.co.jp/museum.html>

## 寄り道スポット 貨幣博物館

ここは正式名称を日本銀行金融研究所 貨幣博物館と言い、実際に流通していた8世紀初頭以降の貨幣を見ることができ、日本の貨幣史が学べます。日本の歴史の概略を勉強してから行かれると、一層興味深く観られると思います。

入場は無料ですが、英語での案内などはありませんので、日本語の分かる人と一緒に行かれることをお勧めします。

日本語のホームページ <https://www.imes.boj.or.jp/cm/>

# チェックポイントと解説 ⑮

## ⑮ 日本銀行

日本の中央銀行である日本銀行（日銀と略されることもある）の本店がこの場所に置かれています。日本銀行は、紙幣・国債の独占発行、金融機関への融資金利の決定や融資の実行、複数の金融機関間のお金や国債のやりとりの仲介、政府の金融窓口（国庫）事務などを担当しています。すなわち、ここは日本の**金融の中心**と言える場所です。ただし、次ページで説明するように、**金融の中心**というのは少し説明が必要です。

# チェックポイントと解説 ⑮

## ⑮ 日本銀行

一般の企業は日本銀行から直接融資を受けることはできず、市中銀行から融資を受ける必要がありますが、株式を公開している場合には直接株式市場から資金を調達することが可能です。市中銀行の資金も、元々市場にあった資金を銀行預金の形で集めたものと考えられるので、銀行からの融資（資金調達）を**間接金融**、株式市場からの資金調達を**直接金融**と呼ぶことがあります。そのため、日本の**直接金融の中心**と言える場所は、日本銀行ではなく株式の売買を行っている東京証券取引所となります。この東京証券取引所は日本橋から東南東に400mほど離れた日本橋兜町にあります。

# チェックポイントと解説 ⑮

## ⑮ 日本銀行

日本銀行に話を戻しましょう。日本銀行がある辺りは、元々、1595年に徳川家康が小判の製造を命じた金座を置いた場所で、400年以上に渡って貨幣の製造や金融の中心となっています。

このコースに面する建物は日本銀行の旧館です。この旧館は辰野金吾が日本銀行本店として設計し、1896年に竣工しており、1974年には国の重要文化財に指定されています。辰野金吾はチェックポイント⑬ 東京駅の設計者として紹介しましたが、東京駅を設計する前に、日本銀行の本店と数多くの支店を設計しています。辰野金吾の作品のうち、現存する最古の建物はこの旧館とされています。

# チェックポイントと解説 ⑮

## ⑮ 日本銀行

旧館は上空から見ると日本のお金の単位である「円」の形をしていることで有名です。現在、旧館は主に日本銀行の歴史を示す写真・絵画や、使われてきた道具などを展示する展示室などとして使用されており、日本銀行本店の業務は、旧館の後ろ側にある10階建ての新館で行われています。

2021年現在、日本銀行はデジタル通貨の実証実験を始めており、近い将来、硬貨や紙幣は姿を消すかもしれません。

## 寄り道スポット 三越日本橋本店

三越は伊勢商人の三井高利が1673年に創業した呉服店の越後屋を起源とする百貨店です。三井の**三**と越後屋の**越**を取って株式会社三越呉服店を設立した1904年には、呉服店から既に欧米で活況を呈していたデパートメントストア（略してデパートまたは百貨店）への業態転換を宣言しており、日本で最初の百貨店とされています。

越後屋は元々日本橋近辺に店を構えていましたが、1914年に地上5階地下1階建てのルネッサンス様式の建物が日本橋の旧本館の隣に建設されて話題になりました。この建物には日本初のエスカレーターとエレベーター、スプリンクラー、全館暖房などが備えられていたということですが、1923年の関東大震災で焼失しています。

## 寄り道スポット 三越日本橋本店

その後、建物は震災修復工事により鉄骨鉄筋コンクリート造となり、1935年にはさらなる増築改修がなされ、現在の建物に繋がる地上7階地下2階のアール・デコ様式の建物が完成しています。このとき、現在でも演奏に使用されているパイプオルガンなどが設置されています。

第二次世界大戦後にも増改築がなされ、1960年には中央ホールに巨大な木彫の「天女像 まごころ」が設置されています。さらに2008年には既存の建物の基礎や柱に免震構造を取り入れる免震レトロフィット工事がなされていますが、2016年に歴史的建物として国の重要文化財の指定を受けています。

## 寄り道スポット 三越日本橋本店

近年では、2016年から建築家であり本学大岡山キャンパスのTaki Plazaの設計者である隈研吾のデザインによる改装がなされ、2018年にリニューアルオープンしています。

三越の象徴となっている本店正面のライオン像は、1914年に設置され、関東大震災や戦災での被害を免れた年代物ですが、他にも本館の建物内外の装飾や、使用されている大理石内の化石など見どころも多く、無料の店内ツアーや有料の歴史&アートツアーなども実施されていますので、参加を検討してくださっても面白いかと思っています。

[https://www.mistore.jp.e.az.hp.transer.com/store/nihombashi/column\\_list\\_all/nihombashi\\_history/index.html](https://www.mistore.jp.e.az.hp.transer.com/store/nihombashi/column_list_all/nihombashi_history/index.html)

## 寄り道スポット 三井記念美術館

三井記念美術館は、旧三井財閥が所蔵する日本画、能面、陶磁器、太刀などの文化財を保存公開している施設です。所蔵品には複数の国宝や数多くの重要文化財が含まれており、有料施設となりますが、一度は訪れて欲しい美術館です。美術館は三井本館の7階にありますが、入り口は隣の日本橋三井タワー1階アトリウムとなります。

English web page <http://www.mitsui-museum.jp/english/english.html>

三井本館の建物は、正面に列柱を持つ新古典主義様式の建物として関東大震災の後の1929年に竣工したものを基にしており、1998年に重要文化財として指定されています。

## ゴール 三越前駅

お疲れ様です。このコースのゴールです。

結構な距離を徒歩で移動してきましたが、最短距離を進んできたわけではありませんので、狭い範囲に**日本の社会の仕組み**と関係した多くの**日本の中心**があることを理解できたのではないかと思います。

三越前駅は東京メトロの銀座線、半蔵門線の駅です。JRの方が都合が良い人は少し離れた新日本橋駅まで地下通路で移動できます。

体力に自信のある人はプラス1.4kmの [進化版コース](#) の方にも挑戦してみてください。

# 進化版コース全図



## 寄り道スポット 旧万世橋駅

中央線の神田駅と御茶ノ水駅の間に1912年に開業し1943年に廃止された万世橋駅の古い施設を再生し、遺構として公開しています。旧万世橋駅の南には、2006年まで交通博物館があり、ある年代以上の人には蒸気機関車や列車運行シミュレータなどに接することのできた思い出の場所です。現在、交通博物館で所蔵していた蒸気機関車などはJR大宮駅近くの鉄道博物館に移動して展示されています。

旧万世橋駅では、開業当時の「1912階段」や交通博物館開館時に設けられた「1935階段」などのほか、プラットホームの遺構を整備した「2013プラットホーム」などが公開されています。

# 進化版コースのゴール 秋葉原駅

秋葉原は、少し前までは家電製品やコンピューターパーツなどの電気製品を売る店が多数並ぶ電気街として知られていましたが、現在は、秋葉原に劇場があるAKB48に代表されるアイドル関連グッズ、アニメ・漫画やゲーム関連のグッズや玩具、メイド喫茶などのサブカルチャーと言われる文化の発信拠点として有名で、日本の**オタク文化の中心**ともいえる場所です。

このコースのゴールとした秋葉原駅には、JR山手線、京浜東北線、総武線（各駅停車）、東京メトロ日比谷線、首都圏新都市鉄道つくばエクスプレスが乗り入れています。秋葉原の町を散歩して、便利な路線を選択して帰路についてください。